

事務局だより 8 号

東北大学教育学部同窓会

東北支部・旧仙台支部

諸費用の値上がりと会計危機

1 はじめに

大型連休も終わり、定禅寺通りの櫛の葉の緑も濃くなってきておりますが、会員の皆様にはお元気で過ごしのことと拝察いたします。

さて、10月の消費税率アップはどうなることや、政治の思惑が絡み、今のところ不透明感が強いですね。米中貿易戦争も絡んでくるのかわかりませんが、それらに先立ち4月から様々な物価が値上がりしています。人件費が絡んでの事と言いつつにしていますが他の品目の値上げが心配です。それらにもまして東北支部の会計を脅かしているのが通信連絡費等の値上げです。消費税も上がれば確実に収支に影響があります。社会福祉に確実に使われるのであればやむを得ないという事もありますが、便乗値上げが始まってくるのではと危惧せざるを得ません。

2 支部会計を脅かす値上がり

まず、平成31年4月1日からの払込手数料の大幅値上げです。既に昨年10月1日からATM電信振替(ATMで払込みする際、通帳から機械的に振込む方法)が月3回まで無料だったのが月1回に変更され、2回目以降から130円となりました。本年4月1日からは払込手数料が通常払込の窓口扱いで130円から200円に、ATM扱いで80円から150円と両方とも70円の値上げとなりました。また、10月1日からは官製はがき代や郵送料が値上げされる予定です。その上、来年4月1日から事務局に無料で振替受払通知票が郵送されておりましたが有料(1通108円)になります。会費納入に伴う手数料は支部支

払いの方法をとっていますので大きな支出となります。支部として対策を取らざるを得ません。

3 会費納入状況分析から

昨年度の会費納入状況を分析してみました。昨年分の納入者243名、過去2年分納入者6名、夫婦会員納入7組14名、協力金追加納入者9名合計273名になります。昨年度会費納入依頼した588通の46%と過去最低の納入率になります。しかし納入者の中に初めての納入者(主に新会員)が12名おりました。明るい話題だと思えます。

分析結果、1年以上ぶりに納入された方31名、一昨年まで納入していた未納者が65名おり、2年分納入者が6名いる事等を勘案すると未納者の中には納入忘れの方が少なからずいることが推察できます。しかし広報を受け取りながら会費の納入意思のない方が多くいることは事実です。この問題も考えねばなりません。

4 終わりに(対応策は?)

まず値上げへの対処ですが、役員会や総会での直接納入の推進(既実施)は勿論、電信振替納入のお願いをと思っています。また、払込取扱票を変更して払込手数料の会員負担への変更を視野に入れております。次に会費未納者への対策として、経費はかかりますが納入督促の実施や未納が続く会員の方々への広報等の配送停止も検討事項に載せざるを得ないと考えています。その上で状況を見ながら、規約の改正を伴いますが会費の値上げも検討しなければと考えております。もちろん会員の了解のもとになります。何か知恵があったらお聞かせください。 文責 渡邊宣隆